



人々の心を癒しつづけ
 今も生き続ける想い
 そんな歴史の再生と継承



福井県無形民俗文化財再生支援事業

福井の 無形民俗文化まつり

2023春

令和5年

3月21日(火・祝)



入場
無料

開場 13:00 / 開演 13:30~16:00

- ◆ 場 所 生活学習館 ユー・アイふくい「多目的ホール」
- ◆ 出 演 越前万歳保存会(越前市)
 鳥浜シテナ踊保存会(若狭町)
 鯖江市やんしき保存協会(鯖江市)
 仁愛大学よさこい部我楽(がらく)
 都の亭小みち(ふく福落語会)



◆タイムテーブル◆

プログラム

1. 開会挨拶
2. 無形民俗文化財等の発表
 - ・シテナ踊 (鳥浜シテナ踊保存会：若狭町)
 - ・やんしき踊り (鯖江市やんしき保存協会：鯖江市)
 - ・よさこい (よさこい部我楽 (がらく) / 仁愛大学)
- ～休憩～
- ・落語 (都の亭小みち / ふく福落語会)
- ・越前万歳 (越前万歳保存会：越前市)
3. 閉会挨拶

時間

- 13:30-
- 13:40-
- 14:00-
- 14:20-
- 14:40-14:55
- 14:55-
- 15:25-
- 15:50

新型コロナウイルス 感染予防対策について

安心して皆様に舞台を楽しんでいただけるよう、新型コロナウイルス感染防止に十分な対策をとって開催いたします。

※タイムテーブルの時間や演目は都合により変更になる可能性があります。

◆出演者紹介◆



シテナ踊 (若狭町)

縄文遺跡「鳥浜貝塚」でその名を知られる鳥浜区に江戸時代の中頃から伝えられている踊りで、子孫の繁栄と村の発展を神に祈って踊り続けてきたものと推測されています。昔当区にあった一姫神社(現在は賀茂神社の合祀)の例祭日の夜に限り踊られていた踊りですが、現在は加茂神社・愛宕神社の祭礼や、旧盆などに踊られています。踊り場の中央に縦横一間のやぐらを組み、周囲を浴衣姿の男女が幾重もの輪を作り、音頭にあわせて賑やかに囃しながら前進後退を繰り返し踊ります。「シテナ」の語源は、能狂言のシテ(主役)から出たという説と、「そしてな」という方言が変化したという説があります。昭和37年、福井県指定無形民俗文化財に指定されました。



やんしき踊り (鯖江市)

やんしき踊りは、古く450年以前から、福井県嶺北丹南地域に、広く伝わる盆踊りです。この伝統的な芸能(やんしき)を地域の宝とし、継承し、後継者育成を目的に、踊り、音頭、太鼓、鉦の普及に努めています。平成21年度、福井県教育庁文化課による《ふくい民俗芸能等群認定制度》に認定され、平成22年度鯖江市指定民俗文化財(無形民俗文化財)に指定されました。公民館などでの定期的な練習会を重ねて、忘れかけた村祭りの再興や、地域まち興しのお手伝い、福祉施設への訪問、小学校や保育園での盆踊り体験の提案など、踊り仲間を広げ、世代を超えて共に健康で楽しめる活動を続けています。



越前万歳 (越前市)

越前市味真野地区や上大坪地区に伝えられた新春の祝福芸で、古くは野大坪万歳と言われました。現在のようになつたのは江戸時代と考えられており、毎年、越前の各藩はもちろんのこと、加賀の金沢の城下でも演じていたといえます。演目についてはかつて48段あったと言われていたますが、現在はそのうちの8段ほどが継承されています。小さい締め太鼓をエゴの木で作ったバチで叩くのが越前万歳の特徴となっています。平成7年、国指定重要無形民俗文化財に指定されました。



よさこい部我楽 (仁愛大学)

私たちは「我に楽しむ」と書いて我楽(がらく)と呼びます。このチーム名には、お客様に楽しんでもらえるよう、まずは自分たちが楽しもうという意味が込められています。皆様に元気とパワーをお届けし笑顔にできるよう、精一杯演舞致します！



都の亭小みち (ふく福落語会)

ふく福落語会は、日本で第一号の女流落語家である露の都師匠から手ほどきを受けている落語教室です。定期落語会をはじめ、依頼があればイベントや各種会合など、出前落語も行っていきます。現在のメンバー男女10名の中から今回は都の亭小みちが口演いたします。